

授業科目名	高等商業簿記論Ⅱ	科目コード	3011005		
開講クラス	税理士科	コース	税理士コース	学 年	1 年
担当教員	矢野 浩				
	実務経験教員 (有 ・ <input type="checkbox"/> 無) 実務経験内容				
開講時期	前期・ <input type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	60時間	
	<input type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2単位	
使 用 テキスト 1	書 名	ALFA 1 I BookkeepingAccounting			
	著 者	大原簿記学校 教材開発部			
	出版社	大原出版			
使 用 テキスト 2	書 名	ALFA 1 II BookkeepingAccounting			
	著 者	大原簿記学校 教材開発部			
	出版社	大原出版			
参考図書					
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<p><授業の目的・目標> 大学卒業程度の商業簿記を身に付け、日商簿記 1 級合格を目指す。</p>					
<p><授業の概要・授業方針> 日商簿記 2 級で学習した内容をベースにして、各取引における仕訳の方法や、財務諸表との関連性を理解させる。また、大企業（上場企業）を前提とした場合における高度な会計処理を学ぶ。</p>					
<p><成績基準・評価基準> <成績基準・評価基準> 項目の講義が終わる都度、確認テストを実施する。確認テストの他、出席率および授業態度も踏まえて、以下の 4 段階評価とする。 優・・・80～100 点 良・・・70～79 点 可・・・60～69 点 不可・・・59 点以下</p>					
<p><使用問題集・注意事項> (使用問題集) ステップアップ問題集 (注意事項) 各取引に対する仕訳をパターンで覚えるのではなく、内容を理解した上で仕訳ができるように学習させ、応用力を高める。</p>					
<p><授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> 簿記 2 級総合 高等商業簿記論 会計学 会計学Ⅱ</p>					

授業科目名		高等商業簿記論Ⅱ
回	授 業 内 容	備 考
1	繰延資産、臨時巨額の損失	
2	割引計算	
3	貸倒引当金	
4	貸倒引当金の設定対象額	
5	貸倒引当金繰入の損益計算書上の表示	
6	貸倒引当金の貸借対照表上の表示	
7	貸倒れの会計処理	
8	貸倒見積高の算定方法	
9	その他の引当金	
10	引当金の表示上からの分類	
11	純資産	
12	純資産の部の表示	
13	株式の発行（新株発行）	
14	株式の発行（新株式申込証拠金の表示）	
15	株主資本の計数の変動	
16	自己株式	
17	自己株式の処分	
18	自己株式の処分と新株の発行を同時に行う場合	
19	自己株式の消却	
20	確認テスト	
21	剰余金の配当等	
22	任意積立金の取崩し	
23	中間配当	
24	新株予約権	
25	自己新株予約権	
26	新株予約権付社債	
27	転換社債型新株予約権付社債	
28	株主資本等変動計算書	
29	株主資本の各項目	
30	株主資本以外の各項目	
31	本支店会計、支店の開設	

32	本支店間の商品取引	
33	得意先・仕入れ先への直接売上、直接返品	
34	支店相互間の取引	
35	本支店会計の決算手続き	
36	未達取引の整理	
37	総合損益勘定	
38	合併財務諸表の作成	
39	棚卸減耗損と商品評価損	
40	確認テスト	
41	工事進行基準、工事進行基準	
42	工事契約から損失が見込まれる場合	
43	研究開発費	
44	ソフトウェア	
45	自社利用目的のソフトウェアの償却	
46	市場販売目的のソフトウェアの償却	
47	見込み販売数量（収益）の見積の変更	
48	リース取引	
49	ファイナンス・リース取引に係る借手の会計処理	
50	オペレーティング・リース取引に係る会計処理	
51	リース資産およびリース債務の計上額（借手）	
52	減損会計（概要）	
53	減損処理、減損会計の手続き	
54	減損の兆候	
55	減損損失の認識	
56	減損損失の測定	
57	割引計算による使用価値の算定	
58	財務諸表上の表示	
59	共用資産の取り扱い	
60	確認テスト	